

二宮町消防団

NINOMIYA FIRE CORPS

消防団とは…

～大切な人、大好きな町を守りたい～

普段の何げない生活。その生活はいろいろな人に支えられています。

行政だけでは手が届かない部分を、また、町民の皆さんがより暮らしやすくなるよう、例えば、民生委員、スポーツ推進委員など、数多くの町民によって私たちの生活は支えられており、その一つに「消防団員」がいます。

二宮町消防団の歴史を紐とくと、常備消防(二宮町消防本部)が組織されたのは昭和47年になりますが、そこからさかのぼること88年前の明治時代に、消防団の起源となる私設消防組が一色村に誕生しました。それ以来、公設への移行、戦時中の二宮町警防団(昭和14年当時団員数：431人)への改編などを経て、現在は非常備消防(二宮町消防団)として常備消防を支え、130年以上の歴史を歩んできました。

現在では、消防職員(町職員)46人、消防団員(お勤めの方など)78人の計124人が「消防人」として、28,000人の町民の生命・身体・財産を守るという「消防の使命のもと、日々訓練に励んでいます。

二宮町消防団員78名の内訳は、団本部に3名、5つの消防分団に各15名で、1月1日現在、欠員無く配備されていますが、時代の変化に伴い、年々、担い手の確保が難しくなってきました。そうしたことから、近年では、町も任命の年齢要件を20歳以上から18歳以上に、また、町内在住の方だけでなく、在勤・在学の方など幅広い方が入団できるよう条例改正を行ったところです。

【団員の構成】(H30.1.1現在)

- 最高年齢 68歳
- 最低年齢 21歳
- 平均年齢 41.0歳
- 職場環境

町外勤務



56%

町内勤務



44%



つながる、広がる、絆が生まれる

消防団は、日頃より火災予防の啓発などの任務に当たるほか、万が一、この町で建物火災が発生した場合には、町の消防本部と連携して消防活動に当たるため、日頃より厳しい訓練を重ねています。

一方で、厳しい現場で一致団結して任務に当たるには、団員同士の結束が重要なため、厳しい訓練だけでなく、時には家族も一緒に親睦事業を行うなど、お互いの絆を深めています。

より多くの町民に消防団の活動を知っていただくため、出初式でのお披露目をはじめ、啓発チラシなどにより周知しているところですが、地区役員の方々や団員が勧誘を行っても、なかなかすぐに入団には結び付かないという現状があります。

しかし、消防団を経験した人のほとんどは、「入ってよかった!」と声を揃えます。

ぜひ、皆さんも、この町を「守る」という使命を帯びて活動する消防団の活動をご理解いただき、そして、「やってみたい」と思っていただけの方は、是非一緒に活動しませんか?

どなたでもお気軽にお問い合わせください。

問 消防課庶務班 ☎72-0015



都内に勤めている人も
いるんだって!

入団すると良いこと
がたくさんあるよ!



人と出会える

友人の輪が広がる

地域デビューできる

防災知識を習得できる

自己有用感が生まれる

など

経験者の生の声を聴いてみよう!

年1回、「Fire Press」という消防団の啓発チラシを発行し、活動紹介や団員の生の声を発信しています。バックナンバーはこちら [二宮 消防団](#)

やってみたい消防団、やって良かった消防団

それが、**二宮町消防団**

新しい仲間を待っています!

